

ともに考えよう まちづくりミーティング

日時 平成30年8月18日(土) 14時00分から
場所 新豎会館 2階 大ホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしく願いいたします。

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域代表あいさつ
- 4 進行の説明等
- 5 「地域課題」について意見交換
- 6 「共通課題」について意見交換
- 7 その他全体を通して意見交換
- 8 地域コミュニティ活性化事業のご案内
- 9 市長まとめ
- 10 閉会

提出課題一覧

1 地域課題

番号	地域課題	頁
1	小学校の跡地利用 (新豎町校下町会連合会)	P2 P3
2	鱗町交差点の改良 (新豎町校下町会連合会)	P4 P5
2	高齢者も安心して住み続けられるまちづくり (菊川校下町会連合会)	P6 P7

2 共通課題

番号	共通課題	頁
1	まちなか地域におけるコミュニティの長期的展望と 市等から委嘱される委員等の見直し	P8 P9

地域課題 1

町会連合会名	新 豎 町 校 下 町 会 連 合 会
地域課題	小学校の跡地利用
課題の内容	<p>新豎町小学校は少子化による児童数の減少と校舎の老朽化等に対応し、教育環境の向上と校舎の老朽化を改善するため、菊川町小学校と統合し、新校舎を現在の菊川町小学校敷地内に建設することとなった。</p> <p>これまで統合してきた金沢市中心部の小学校跡地を見ていると、青少年や福祉に関わる施設を設置しているが、新豎町小学校跡地においては、どのような利用方法を考えているのか。</p> <p>その利用方法によって、街の様子が一変する可能性もあるので、不安に思う住民もいる。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>金沢市においては、移転後の新豎町小学校の跡地をどのように利活用していくのか、中心市街地の今後のあり方と併せて長期的な展望をお聞きしたい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>まとまった一団の土地としての有効な利活用が求められるが、どのように利用するのかを市と地域が一体となって考え、できるだけ多くの地域住民が利用できるよう、議論していきたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 1）

地域課題	小学校の跡地利用
提案・提言等	<p>金沢市においては、移転後の新堅町小学校の跡地をどのように利活用していくのか、中心市街地の今後のあり方と併せて長期的な展望をお聞きしたい。</p>
市の方針等	<p>新堅町小学校と菊川町小学校との統合に向けては、7月に新堅町、菊川の両校下や保護者の代表者等からなる統合協議会が設置され、協議が開始されたことに対して、あらためて感謝申し上げます。今後は校名や校歌などの具体的事項について、協議を重ねていくことになると思いますが、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、統合小学校については、来年4月の開校に向け、年度末までに、新堅町小学校のグラウンドに仮設校舎を設置するとともに、新校舎の基本設計に着手し、明年度中に設計を終えることとしています。</p> <p>加えて、現菊川町小学校の場所での統合小学校新校舎の建設については、2020年度に建設工事に着手し、2022年度からの供用開始を予定しており、その後、現在の新堅町小学校校舎の解体に着手したいと考えています。</p> <p>跡地利用については、市中心部に位置する9千㎡強のまとまった用地であり、市としても非常に重要な場所であることから、長期的な視野に立ち、地域の方々のご意見等も踏まえながら、慎重に進めていきたいと考えています。</p>
担当課	<p>都市政策局 企画調整課 電話 220-2031 教育委員会 教育総務課 電話 220-2431</p>

地域課題 2

町会連合会名	新 豎 町 校 下 町 会 連 合 会
地域課題	鱗町交差点の改良
課題の内容	<p>鱗町交差点は通行車両が多く、特に、朝夕には交通渋滞が発生する箇所であり、渋滞緩和を目的として、昭和46年に歩行者専用の地下道が設けられた。</p> <p>しかし、地下道設置から50年近くが経ち、老朽化も目立ってきており、一部には漏水もみられる。また、バリアフリーの面で、高齢者や乳幼児のベビーカーでは歩行が難しく、加えて、不審者情報を耳にすることも多くなってきた。</p> <p>一方、地上部は、自転車で通学する遊学館高校、県立工業高校の生徒が1日あたり600人程度通行しており、登下校時には多くの自転車で混雑している。自動車と自転車が輻輳する場面も多く見られ、危険な状態であると考えている。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>鱗町交差点及び地下道の改良は、地域にとって、長年の懸案事項となっている。地域住民の利便性及び歩行者の安全性をさらに高めるための方策をお聞きしたい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>平成 28 年には金沢中警察署に地下道の撤廃要望を提出したこともあり、撤廃埋め立てを要望する意見もあるが、車両の通行や、信号を気にすることなく安全に交差点を横断できるため、地下道を利用する歩行者も少なくない。</p> <p>地域としては、安全面を最優先したいため、引き続き、地下道を利用していききたいと考えているので、老朽化した地下道を可能な範囲でリニューアルしていただきたい。</p> <p>一方、地下道を利用しづらい歩行者も多くいるので、試験的に交差点の歩道信号試験の実施を提案したい。その試験結果を元に今後の交差点のあり方を議論していきたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 2）

地域課題	鱗町交差点の改良
提案・提言等	<p>老朽化した地下道を可能な範囲でリニューアルしていただくとともに、試験的に交差点の歩道信号試験の実施を提案したい。その試験結果を元に今後の交差点のあり方を論議していきたい。</p>
市の方針等	<p>これまでも、防犯カメラやLED照明、手すりの設置のほか、上屋のガラス交換、路面標示シートの設置など老朽化や安全への対策を行ってきたところですが、今後も、地域の方々のご意見を伺いながら、市として可能な限り対策を講じてまいりたいと考えています。</p> <p>ご提案の試験的な歩道信号の設置については、道路の渋滞を招くことや、構造的に横断歩行者のたまり空間が確保できないことに加え、地下道の上屋があるため、左折車の視認性が悪くなることなど、安全確保の観点から、実施は困難であるとと考えています。</p> <p>しかし、地下道を含めた交差点の改良が地域の大きな課題であることは、本市も十分承知をしており、課題解決の可能性を探るため、今年度、交差点の交通量調査を実施することとしています。その結果を踏まえ、地域の皆様と協議しながら、検討を進めてまいりたいと考えています。</p> <p>【参考】 自転車と自動車が輻輳することに対する安全対策については、地域の方々や警察とも連携協力しながら、引き続き街頭指導などルールやマナーの周知徹底に取り組んでまいりたい。</p> <p>(地下道の整備等) H15 防犯カメラの設置 H24 LED照明の設置 H29 平坦部の手すりの設置、路面標示シートの設置、上屋ガラスの部分交換</p>
担当課	都市政策局 交通政策課 歩ける環境推進課 土木局 道路管理課 道路建設課 電話 220-2316

地域課題 3

町会連合会名	菊川校下町会連合会
地域課題	高齢者も安心して住み続けられるまちづくり
課題の内容	<p>近年、菊川校下の住民構成の環境が大きく変化しており、まさに「少子高齢化」が急速に進んでいる。</p> <p>具体的には、5年前と比較すると、人口は約350名減少したが、65歳以上の人口は101人増加した。平成30年4月時点の金沢市平均の高齢化率26%に対し、菊川校下の高齢化率は35.8%となっている。</p> <p>このように菊川校下では、人口が減少する中で、高齢者が住民の3分の1以上を占めており、この先5年後を考えると、人口は約5,600人、高齢者は2,250人、高齢化率40%に推移することが想定される。</p> <p>菊川校下においては、少子高齢化を伴う人口減少は校下の「マンパワー不足」と「町会負担金の減少」をもたらしている。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>地域主体の活動が発展するための方法として、どのようなものがあるのか市と意見交換し、校下の諸団体と行政が連携して取り組むことができる事業を共に検討したい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>菊川校下では今年度から地区社会福祉協議会が中心となって、「地域安心生活支え合い事業」に取り組むことで、高齢者世帯が安心して生活できるように地域主体の生活サポート体制をつくらうとしているところである。</p> <p>地域の若い世代にも気楽に参加してもらいたいので、他都市において、若い世代が活躍している成功事例を教えていただくとともに、市からの助言をお願いしたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 3）

地域課題	高齢者も安心して住み続けられるまちづくり
提案・提言等	<p>菊川校下では今年度から地区社会福祉協議会が中心となって、「地域安心生活支え合い事業」に取り組んでおり、地域の若い世代にも気楽に参加してもらいたいので、他都市において、若い世代が活躍している成功事例を教えていただくとともに、市からの助言をお願いしたい。</p>
市の方針等	<p>「地域安心生活支え合い事業」は、ひとり暮らし高齢者等の孤立防止と日常生活のちょっとした困り事への対応を地域住民主体のボランティアが行うもので、平成25年度から地区社会福祉協議会を実施主体として、現在、市内54地区のうち、28地区で取り組んでおり、菊川校下では今年度から新たにこの事業に取り組んでいただくことになっています。</p> <p>ご指摘のとおり、地域住民主体のサポート体制の構築にあたっては、学生などの若い世代の方々に参加いただき、高齢者と交流することも必要なことだと思っています。</p> <p>若い世代の方々に参加をしてもらうためには、地域の高齢者のニーズを把握し、ボランティアへの参加希望を募ることが大切であり、現在、本市では、金沢市社会福祉協議会（金沢ボランティアセンター）と連携し、地域ニーズを調査し、ボランティアの受け手と担い手をマッチングする仕組みづくりを進めているところでもあります。</p> <p>本市での具体的事例としては、学生等雪かきボランティア事業があります。昨冬、16の町会連合会がボランティアグループと協定を結んでおり、降雪の際には、延べ25回、400人を超えるボランティア参加がありました。</p> <p>この地域の近くにも高校があることから、本市としても、地域の取り組み状況に応じて、橋渡しをするほか、他都市の参考事例の紹介なども含め、事業が円滑に進められるよう支援させていただきます。</p> <p>また、金沢市社会福祉協議会にも専任のスタッフがいますので、準備段階から気軽にご相談ください。</p>
担当課	<p>福祉局 福祉総務課 電話 220-2278</p>

共通課題 1

<p>共通課題</p>	<p>まちなか地域におけるコミュニティの長期的展望と市等から委嘱される委員等の見直し</p>
<p>意見、質問の内容</p>	<p>近年の少子高齢化に伴い、地域のボランティア活動の担い手が不足している。自主的に協力していただいている方々のおかげで、今は何とか町会や公民館の活動を行っているが、後継者が育たないため、町会活動が継続できなくなる、といった不安がある。</p> <p>また、まちなか地域の人口が多い時と比べて、1/3程度まで減少している中、町会活動の財源となる町会費収入は減少している。また、人口減少に対応するため、各世帯の町会費負担額を増加せざるを得ない状況になってきており、地域住民の経済的負担が日に日に重くなっていることを実感している。</p> <p>このような状況をまちなか地域のコミュニティの大きな課題として、市はどのように認識しているのか、長期的展望とあわせて、ご教示いただきたい。</p> <p>一方、人が減り、お金も少なくなる中であっても、市等から委嘱される様々な委員等（公民館委員、スポーツ推進委員等）への推薦が減ることはなく、現状は役員など、少人数の固定化された人達が日々の活動に忙殺されている。</p> <p>各委員等は、それぞれの役割が異なることは理解しているが、行政は、新年度に入ると新たな施策や制度に基づき新しい人員を地域に求めてくる。しかし、担い手が限られている現状では、同じ人にさらなる負担を増加させることにつながる。</p> <p>施策は時代とともに変化することはよく理解するが、それには以前からある施策を見直すこと、つまりスクラップアンドビルトがなければ、人口減少社会に入っている地域にとっては人的に協力することは難しい。</p> <p>今後、政府が外国人労働者の受け入れを拡大すれば、地域は、新たに外国人との共生も考えていかねばならない。人口増加時代なら何も思わなかったが、これからは様々なベクトルで行政と地域の協働の在り方を考えていかねばならないので、これからの地域の展望についてご教示いただきたい。</p>

市の方針等説明書（共通課題 1）

<p>共通課題</p>	<p>まちなか地域におけるコミュニティの長期的展望と市等から委嘱される委員等の見直し</p>
<p>意見・質問等</p>	<p>地域のボランティア活動の担い手不足と町会活動にかかる各世帯の経済的負担の増といった地域のコミュニティの課題について、市はどのように認識しているか、長期的展望とあわせてご教示いただきたい。</p> <p>市等から委嘱される様々な委員等について、人材が固定化され、忙殺されていることから、地域の負担軽減のためにも、新しい時代に対応する体制づくりを推進していただきたい。</p>
<p>市の方針等</p>	<p>少子高齢化に伴う人口減少の進展等に伴い、町会運営に携わる担い手の不足や、町会活動の財源となる町会費収入の減少等により、地域の様々な活動の運営維持が困難になりつつあることは、新塲町、菊川校下をはじめとしたまちなか地域は、もちろん、市内全域の喫緊の課題であることは十分に認識しています。</p> <p>一方で、地域団体の運営は、金沢方式と言われている「地域主導」による自主運営を基本としていくことが大切であり、その運営のためには、地元におきまして一定の役割を担っていただきたいと考えています。</p> <p>これらの状況を受け、7月に、地域団体の運営体制の支援に向けて、町会連合会等をメンバーとした「金沢市地域コミュニティ運営体制検討会議」を設置し、地域の人的・財政的負担の軽減や地域団体の持続的な運営体制のあり方について、今後、検討していくこととしています。</p> <p>また、9月末には、学生のまち市民交流館内に、「市民活動サポートセンター」を開設し、地域を支えるリーダーを養成する講座等を開催することとしており、担い手不足の解消に取り組んでまいります。</p> <p>加えて、転入者等が住民登録の際には、「金沢の町会加入のご案内」といったリーフレットを配付して、町会加入を促しているところであり、この他にも、できる限りの加入促進策を講じていきたいと考えています。</p> <p>ご指摘の市等から委嘱される様々な委員等のあり方については、全庁的な課題として、地域の負担を軽減するべく検討していきたいと考えていますが、地域コミュニティに関する課題は、一朝一夕に解決できるものは少なく、地域の皆様と連携を密にし、対応を検討してまいりたいと考えています。</p>
<p>担当課</p>	<p>市民局 市民協働推進課 電話 220-2026</p>